

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
研究進捗評価現地調査評価コメント

研究課題名	細胞核初期化の分子基盤	研究代表者名 (所属・職)	山中 伸弥 (京都大学・教授)
-------	-------------	------------------	--------------------

評価コメント

本研究は日本を代表する研究の一つであり、国家戦略的に推進される課題へと発展してきている。
研究代表者らが行っているiPS細胞研究のうち、本研究課題は基礎研究に特化したものであり、発生生物学あるいは生命科学の根幹に関わる未解決の分子機構の解明を主眼とする。その中で特に（1）4因子によるiPS細胞誘導の分子機構の解明（2）レトロウィルスを用いないiPS細胞誘導方法の確立（3）ヒトiPS細胞の特性解明と分化誘導法の確立の3つを柱として、予想を超える成果をあげており、現状通り推進すべきと考える。

また、機器購入や技術員の雇い入れ、消耗品などの研究費の使用状況には問題はない。

研究体制については、10名ほどの大学院生を含む大勢の若手研究者が集い、活気ある研究室運営がなされている。一方で、この研究室は総勢40名にも及ぶ大所帯であり、研究代表者の多忙が重なっていることに留意し、この活気を維持させる意味でも、若手の教育とケアの行き届いたシステム作りを今後も発展させてほしい。